

●新春伝承あそびまつり

1月27日、三ツ和公園で開催。子どもたちは竹馬やこま回し、絵あてずもう、ジャンボかるたなどのお正月遊びをプレイリーダーと一緒に楽しみました。



●節分豆まき大会

1月27日、グリーンセンターで開催。コミュニティ広場に集まった多くの人々は、福にあやかろうと競うように手を伸ばし、豆の入った小袋を受け取っていました。



●拉致問題を考える川口の集い

1月27日、一日も早い拉致問題の全面解決に向けてフレンディアで開催。350人のかたがたが参加し、拉致問題を決して風化させない思いを新たにしていました。



●川口市体育三賞（川口市体育賞・大野元美記念体育賞・押田記念体育賞）授与式

1月25日、リア音ホールで開催。川口市体育三賞のほか、オリンピック・パラリンピック特別賞やレクリエーション協会特別表彰など、各種スポーツで優秀な成績を収めたかたがたや功労者、指導者など196人が受賞しました。

# 第16回 川口市都市デザイン賞 受賞作品発表

都市の美化および豊かな都市環境の創造に貢献し、まちに潤いと魅力を与えている建築物などを表彰する川口市都市デザイン賞。各受賞作品を紹介します。

詳細は市ホームページでもご覧になれます  
問い合わせ 都市計画課  
☎048-242-6333(直通)

都市デザイン賞



## ルーエンハイム川口上青木

宿泊機能を備えた高齢者デイサービス施設。外壁に使用している木の温かみが所々に見られるように工夫されるとともに、周りの低層の街並みに配慮し、高さを低く抑えています。

都市デザイン賞

## 小谷野医院

昔から地域で活動している医院。大きく設けられたガラス面が、いろいろな角度からの微妙な変化のある風景を映し出し、明るく開放的な空間を演出しています。植栽においても、通り沿いの3本の樹木の配置が良好な景観を創出しています。



まちかどスポット賞



## まちに建つ石場建ての家

昔ながらの石場建屋の住宅。現在ではほとんど見かけなくなった昔の基礎の形や、外壁や物干しまでどこか懐かしい面影を演出しています。また、外壁などにふんだんに使われている木材も経年変化による良さが期待でき、将来的にも街の歴史を残す存在になると思われる。



## 根本杏林堂「蔵」

茨城県龍ヶ崎市より移築された蔵。再利用された柱・梁・建具などの内部の部材が歴史を感じさせます。また、ライトアップの設備も備えているところが好印象を与えています。



## 磯野邸

極限までシンプルさを追求した住宅。「4つの庭」の配置により生活できる環境も備えています。また、箱を重ねるようなデザインや、電線の引き込みを地中化する工夫も好印象を与えています。

# ひと・歴史・かわぐち

このコーナーでは「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」に登場した川口ゆかりの人物を紹介していきます

## 「語りたかった思い」

後深草院二条

今回は、川口の地名がはじめて文献に登場する鎌倉時代の日記文学『とはすがたり』の作者、御深草院二条を紹介いたします。

「武蔵国小川口といふ所へ下る」。鎌倉時代後期に書かれた日記文学『とはすがたり』の一節です。川口の地名がはじめて登場する文献であり、鎌倉時代の川口の様子を伝える貴重なものです。作者は後深草院二条。全5巻に及ぶ日記には、宮廷生活の回顧や、諸国行脚の紀行などが赤裸々につづられています。

二条は、中院大納言久我雅忠と大納言典侍近子(四条隆親の娘)の子として、正嘉二年(1258)生を受けます。2歳で母を亡くしてから、4歳から後深草院の御所で育ち、14歳で上皇の寵愛を受けてからも、多くの男性から求愛を受け、華やかな後宮生活を送ります。一方で「逃るる所なくて宮仕ひるたるもいまさら憂き世の習ひも思ひ知らればはる」(逃げるところもなく仕えたが、今さらながらつらい世の中だと思いつたわ)と述懐する愛欲の苦悩に苛まれ、出家後、32歳から西行に倣って修行の旅に出ます。そして旅先で再会した上皇と旧交を温めますが、その死(遭い、徳治元年(1306)、上皇の三回忌で筆をおきます)。



『とはすがたり』(写本・宮内庁書陵部所蔵)をよみかた、漢字、仮名を適宜改め、いまま参り文獻川口中史、古代・中世資料編1977、川口市、川口大百科事典1999、川口大百科事典刊行会、日本の作家100人御深草院二条(2005、勉誠出版)